

6-4 4/4時の指導計画

(1) 目標

「平家物語」に表れたものの見方や考え方につれて、登場人物の思いなどを想像することができる。

(2) 展開

* 本時における評価は、授業終了後に回収した交流シートによって行う。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ I C T 活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 前時の学習を振り返る。 2 本時の目標を確認し、学習内容を見通す。	学習計画表 ワークシート④	○2~3名の生徒に前時の「学んだこと」の欄に書いたことを発表させる。 ◆前時の学習活動において「十分満足できる」状況(A)にあった生徒の記述を紹介し、「武士の世界の価値観」を踏まえて想像するということについて理解を深めさせる。 ○本時は、学級での交流を通して「平家物語」に表れたものの見方や考え方につけて、登場人物の思いなどを想像することを確認する。	
人物論を読み合い、「平家物語」のものの見方や考え方につれて、登場人物の思いなどを想像しよう				
展開	3 書き上げた人物論をグループで読み合い、感想や意見を交流する。 [手順] <ol style="list-style-type: none"> 人物論を読み合うときのチェックポイントに従って評価する。 同じ人物でも捉え方が違っている場合は、自分の考えと比べて感想や意見を書く。 グループで人物論を発表する代表者を1名決める。 	ワークシート④ 付箋	○人物論を読み合うときのチェックポイントを交流シートで確認する。 ○感想や意見は、付箋に書いて作品に貼って次の人に回すように指示する。 ○紹介したい理由を明らかにして決めさせる。	

展開	<p>4 学級で発表し合い、自分が選んだ登場人物以外の人物論や、自分とは異なる根拠や理由付けで書かれた人物論を読んで、「平家物語」に表れたものの見方や考え方方に気付き、登場人物の思いなどを想像する。</p> <p>[手順]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) グループの代表者が発表する。 2) 感想や意見を2~3名に発表させる。 <p>5 自分の人物論に貼られた付箋を交流シートに整理し、自分の書いた人物論を自己評価するとともに、「平家物語」に表れたものの見方や考え方について考えを深める。</p>	交流シート	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな人物論を聞いて考えを広げたり深めたりさせる。 ○印象に残った人物論や、それに対する発言についてはメモに書き留めておくように指示する。 ○感想や意見は、新しく気付かされたことや自分と異なる考え方を中心に言わせるようにする。 ○他の生徒から受け取った付箋を整理して考えを深め、自分の書いた人物論について振り返るように指示する。 ○学級での交流を通して「平家物語」に表れたものの見方や考え方で気付いたことや、想像が膨らんだ登場人物の思いなどを書かせる。 	<p>【言①】「平家物語」に表れたものの見方や考え方に対する感触、登場人物の思いなどを想像している。</p> <p>【交流シート】</p> <p>交流を通して、「平家物語」に表れたものの見方や考え方に対する感触、登場人物の思いなどを想像して書いている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <p>最も印象に残る人物論を選ばせ、なぜ印象に残ったのかを考えさせる。また、その人物論で捉えられたものの見方や考え方や、人物論の中に描かれた人物の思いなどに注目させて考えを深めさせ、交流シートに書かせる。</p>
	<p>6 学習計画表の「自己評価」を行い、「学んだこと」を書く。</p> <p>7 単元の学習を振り返り、身に付けた力やその力を活用できそうな場面について考え、学習計画表に記入する。</p>	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。 ○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での参考になった発言などを書くように促す。 ○単元の学習について指導者の評価を伝え、生徒が新しい課題や今後の学習の展望がもてるようにする。 	